

令和5年第26回公安委員会会議録

日時	10月26日(木曜日)	自午後 1時30分 至午後 3時50分	場所	公安委員会室
会議出席者	公安委員	宮尾委員長 吉田委員 小野委員 廣塚委員 甲斐委員		
	警察職員	本部長 警務部参事官 生活安全部長 刑事部長 交通部長 警備部長 情報通信部長		

第1 聴聞等についての決裁
聴聞21件、意見の聴取24件についての決裁(運転免許課)

第2 定例会議

1 令和6年度における県警察の取組施策等について

警察本部から、県警察の課題と取組の方向性について報告が行われた。

公安委員から「子供や高齢者を交通事故から守る取組として、通学路や生活道路等における交通安全を確保するため、信号機、横断歩道等の整備を推進するとともに交通指導取締りの高度化を推進するということであるが、具体的には、どのような取組を行うのか。」旨の発言があり、警察本部から「予算が必要にはなるが、車両感知器等を設置して交通量を把握し、信号制御を最適化するなどの取組を考えている。取締りに関しては、通過交通の多い通学路等で力を発揮する可搬式速度違反自動取締装置を活用して機動的な取締りを行うなどを想定している。」旨の説明があった。

2 熊本県警察DX推進計画について

警察本部から、県警察におけるDX推進計画について報告が行われた。

公安委員から「DXを推進するためには、全ての警察職員がアナログからデジタルに変わろうという意識を持ち、アナログ情報のデジタル化を徹底的に進めていかなければならない。RPAについては、全ての業務に対して考えていく必要があり、短期間でできるものではない。各部が業務のフローを作成し、非効率な分野はどこなのかという問題意識を持つという動きを繰り返していけば、レベルが上がり、県警察で考えていることが本格的に進むようになると思う。全員参加型でDXを進めてほしい。」旨の意見があった。

第3 報告・決裁等

1 監察業務についての報告(監察課)

2 ストーカー規制法に基づく禁止命令等の実施状況についての報告(人身安全対策課)

3 令和5年第22回公安委員会会議録の決裁(公安委員会事務局)